

アンサンブルについて

皆さん、インディアンフルート楽しんでいらっしゃると思います。
今日はアンサンブルについて少しお話ししたいと思います。

フルートサークルなどでもご経験があると思いますが、一緒に演奏してくれる仲間が一人でもいたら、楽しみ方の幅が際限なく広がります。

とは言え、フルートサークルのようにリードしてくれる人も無く、初心者の仲間同士で、どうアンサンブルしたら良いかわからない～と思われる時もあるでしょう。

それにフルートサークルの時にリーダーが「自由に演奏してください♪」なんて言うと、途端にあたふたしたりしませんか？

私はドキドキして不安になりました。

そこで簡単なアイデアをこっそりお教えします。

☆ 基本の音ラドレミソラのみを使った、知っている曲を繰り返す！ ☆

既にご存知の曲、たとえば「ほたるこい」や「かごめかごめ」などを繰り返し演奏してみるのはいかがでしょうか。

もし全くの初心者で1曲演奏するのが難しいようなら、その方は「かごめかごめ～♪」の部分のメロディを何度も繰り返して演奏すればあら不思議♪

では、実際に「かごめかごめ」でやってみましょう。

その1♪～ かーごめかごめ かごのなかのとりは～♪
レーレミレレレ レレレレドドレレラ

その2♪～ かーごめかごめ かーごめかごめ～♪
レーレミレレレ レーレミレレレ

最後まで続けて

いかがですか？アンサンブル出来ました。

一人で演奏しているよりずっと楽しいのではないのでしょうか。

ポイントは、基本のペンタトニック（ラドレミソラ）の6つの音のみを使うことです。

簡単にアンサンブルを楽しむ為には、他の音や指使いをしてはいけません。

この方法だとなぜ失敗しないかと言うと、それは、ペンタトニック音階はどの音の組み合わせでも綺麗なハーモニーを作るからです。
また、同じ曲を使うのはリズムも同じだからなのです。

リズムはとても大切です。

例えばワルツ（三拍子の曲・社交ダンス等）とマーチ（二拍子の曲・行進曲等）では、リズムが違うので一緒に演奏出来ません。

それに子守唄などのゆっくりした曲と運動会などで聞く走り出したくなるような曲も一緒に演奏しにくいですね。

もちろん例外もありますが、大抵は難しいと思います。

☆ 基本の音の曲に合わせて、自由に演奏してみる！ ☆

次に、一人が曲を吹きます。そして、別の人は自由に演奏してみましよう。
自由に～と言うと、やはり難しいと思われるかも知れませんが、コツは先ほどと一緒にです。

**基本のペンタトニック（ラドレミソラ）の音のみを使うこと。
リズムを合わせることももちろん大切です。**

とは言え、やはり無理～と思われる方に簡単な方法を。

それは使う音のある程度決めてしまう方法です。

例えば、右手のみを動かす音（ラドレミ）を使ってみる。

それも難しい？と思う方は、音を減らして2つだけで演奏してみる。

リズムも決めてしまっても良いかもしれません。（タンタタ・ターンタ等）

慣れてきたら、音を増やしていけば良いのです。

そうやって繰り返し楽しんでいけば、他にもきっとやりたくなります。

曲を演奏されている方もいろいろやってみたくくなりますし、簡単なアンサンブルに慣れて来たら、お互いに自由に演奏してみるのも楽しいです。

仲間の人数が増えてきたら、グループに分かれて交代で演奏したり、手拍子で参加したりも出来ます。

太鼓や他の打楽器と一緒に演奏してもらうのも良いですね。

打楽器が無ければ机でもお皿でも何でも良いと思います。

とにかく、皆で一緒に演奏する！これこそがアンサンブルです。

形にとらわれず、色んな演奏をたくさんの仲間と一緒に楽しんでください♪